

恋風チクソン、また刺されたネソフイー!

ラブム2

LAの恋2

ソフィー・マルソー主演
クロード・ブラスール ◆ アリッド・フォッセー
アニス・クレイ ◆ ビェル・コーソー

原作 アラン・ボワレ ◆ 監督 クロード・ピントー
脚本 マニエル・トンプソン クロード・ピントー
撮影 エドモンド・セザンヌ
主題歌「恋の気持」(歌) フック・タフックス) 東宝EMI・イーストワールド
© 1987 富士映画共同販売

パパ、ママ、怒らないで
二人で一緒にいてシアワセだったの
でも信じて、まだなのよ……

ラブム 2

ストーリー

あれから2年。今、15才のビック（ソフィー・マルソー）は田園風景の美しいハイエルンで夏の休暇中だ。でも人里離れた田舎の刺激に乏しい毎日は、若くはちきれんばかりの彼女にはウンザリするばかり。折からザルツブルグのフェスティバルを見学に来ていたひいおばあちゃんのプレゼントの誘いによって、一足早くパリへ帰ることになった。ザルツブルグからパリへの車中、ひよんなことからフィリップ（ピエール・コーソー）という長身でフロント、笑顔からこぼれる真白い歯が爽やかな17才の青年と出合う。何となくお互い気になりつつも、ビックはひさかたふりにパリの土を踏んだ。駅

では母フランソワーズと10か月になる弟のルカが出迎えた。父フランソワは最近、博士号を取るための学位論文に夢中で研究室に入りびたりらしい。我が家へ戻ったビックは早速親友のベネロブに会いオシャベリに花をさかせる。話題はモチ、男の子のことだ。ところがその最中、大変な事に気づく。ザルツブルグからの列車の中で、例の男の子とパスポートをとり違えたらしい。

翌日、パスポートの住所を頼りにベネロブと共にフィリップの家を訪れたビックを、彼は驚きと喜びをもって迎えた。あの日以来、彼女のおもかげを忘れられないフィリップだった。しかしやっかいなことに、ベネロブも彼に一目ボレしてしまう。

新学期が始まった。活気のある毎日。仲間たちとのスナックでのオシャベリ。その頃、ベネロブは一人でフィリップをボクシングの練習場にたずねていた。しかし逆にビックの電話番号を聞かれ、彼のビックへの想いを知らされてショックを受ける。突然フィリップから電話をもらい、ロック・コンサートに誘われたビックは胸をおどらせたものの、ベネロブのことを考えると少々複雑だ。が、常に良き人生の大先輩バベットは「そんなこと気にするのはバカよ」と励ます。

コンサートの夜。熱狂的な拍手と歓声の中でフィリップはそっとビックの手を握った。新しい恋の始まりの予感が2人の体を電流のように貫いた。終バスの中でも若い恋人達は抱き合ったまま、見つめ合い、唇を重ね、時のたつのも忘れて語り合うのだった。——そして……

さらに“悩み”大きく
愛と涙の感激篇！

再登場

83年、ニュー・アイドル
ソフィー・マルソー

“愛のファンタジー”につぐ

ビッグ・ヒット確実！！

「ラ・ブーム2」主題歌

“恋する瞳”（歌：クック・ダ・ブックス）

〈セントラ盤東芝EMIイーストワールド〉

春休みロードショー：特別ご鑑賞券発売中！／一般1200円／学生1100円（バッチ付き）

3月12日（土）

国電青森町・地下鉄銀座駅下車
丸の内ピカデリー
(201)2881

紀伊国産ビルうら
新宿ピカデリー
(352)1771

渋谷東急文化会館6F
渋谷東急名画座
(407)7229

吉祥寺駅東口前
吉祥寺セントラル
0422(48)6521

京浜地区
19日（土）より

中野区本町
横濱ピカデリー
044(261)2886

東区ミズタウン
川崎グランド
044(233)2968